

## 佐渡市消費者協会 コンポストの取組方法

<b>1 容器を用意する</b>	「容器のアイデア」参照
<b>2 基材（培養土）と発酵促進剤を用意する</b>	配布されたもの
<b>3 容器の底から4分の1くらいの高さまで培養土を入れる</b>	培養土を入れすぎるとかき混ぜるのが大変なので、はじめは少なめに
<b>4 水気を切った生ごみを投入する</b>	「投入物のアイデア」参照 一度に多く投入すると失敗するので、100gくらいから始め、分解の様子を見ながら少しずつ増やしていく
<b>5 へらやスコップでよくかきまぜる</b>	投入直後のほか、 <u>投入しない日</u> も一日1回以上は必ずかきまぜましょう。 かきまぜるほど、よい堆肥になります。※力を入れすぎて容器を壊さないよう注意
<b>6 洗濯ネット、布などで容器にフタをする</b>	虫が入らないようフタをします 密閉すると微生物が死んでしまうため、通気性を保つ
<b>7 投入物の内容、重さなどを記録用紙に記録する</b>	記録用紙の記入例を参考に
<b>8 攪拌（かき混ぜ）のみの場合も、記録用紙に記録する</b>	
<b>9 週に1回ほど、発酵促進剤を入れ、かき混ぜる</b>	促進剤も少量から始め、分解の様子を見ながら調節。入れすぎないように注意しましょう。
<b>10 生ゴミの投入開始後1～2か月経過し、分解が進まなくなったら投入をやめる（熟成）</b>	熟成期間中も3日に1回程度、かき混ぜる
<b>11 熟成期間に入り1か月ほどで堆肥が完成</b>	よい堆肥はいやな匂いがなく、サラサラとして空気を多く含んでいます